

# 北見市上下水道審議会資料

平成31年3月1日

## 目 次

- |                             |       |
|-----------------------------|-------|
| 1. 平成31年度予算（案）の概要について ..... | 1 ~ 4 |
| 2. 水道事業の統合について .....        | 5     |

上 下 水 道 局



## 1. 平成 31 年度予算（案）の概要について

企業会計で行う水道事業・下水道事業の予算は、施設の維持管理など日常の営業活動に要する収入と支出を示す『収益的収支』と、施設の建設や改良などに要する収入と支出を示す『資本的収支』に分かれています。

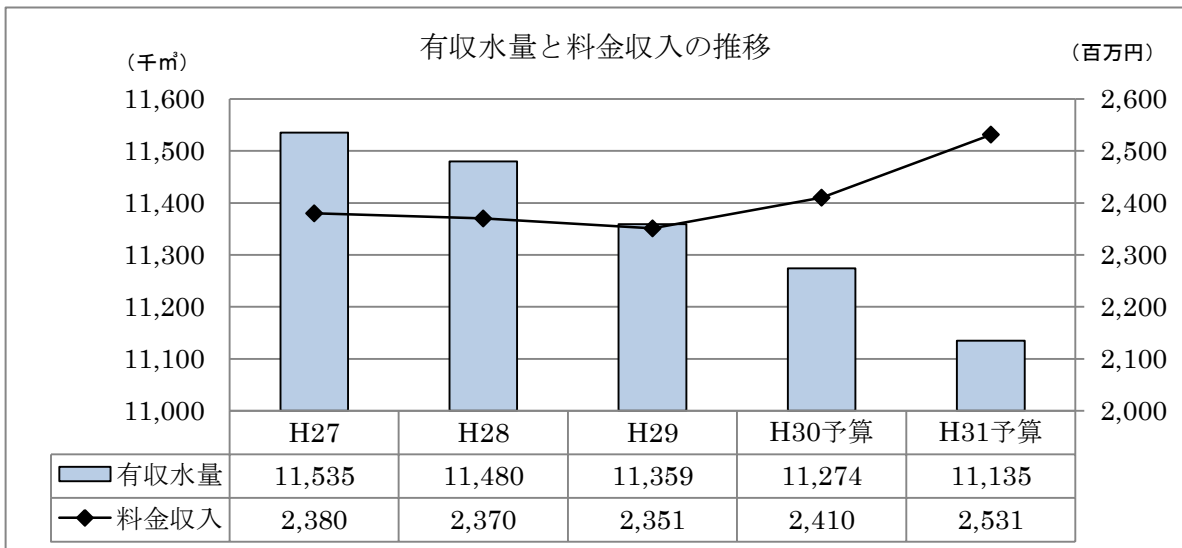
また、各事業にかかわる施設の整備や維持管理などの費用は、料金・使用料が主な財源となっています。

### (1) 水道事業

#### ① 有収水量と料金収入の見込み

人口減少や節水型機器の普及などにより水需要は減少傾向にあり、平成 30 年度の有収水量は、1 月末現在で前年度に対し 1.63%減少しています。

平成 31 年度の有収水量は近年の状況から減少が続くと見込んでいますが、料金収入は平成 30 年 10 月の料金改定により、平成 30 年度と比較して増加を見込んでいます。



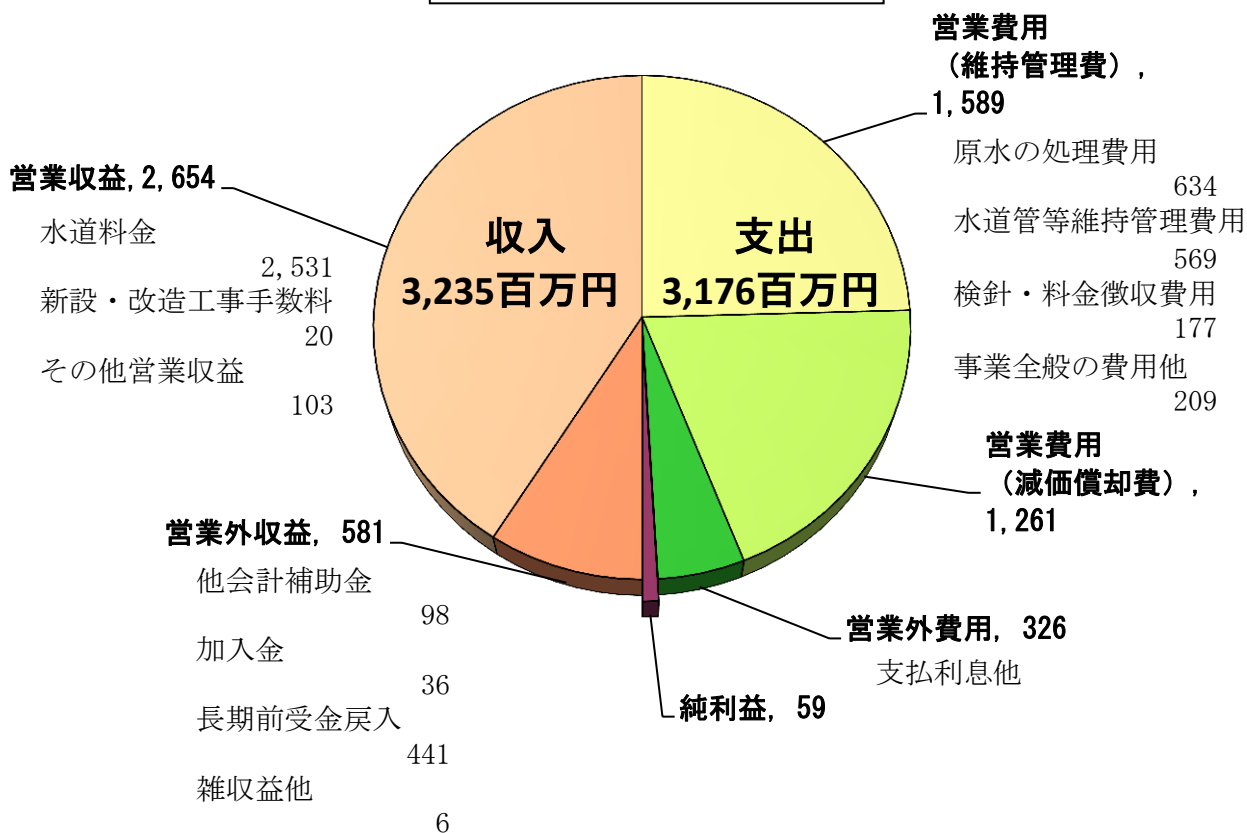
#### ② 主な建設改良事業

- 配水管布設替工事：約 4,242m
- 配水管布設工事：約 431m
- 広郷浄水場
  - 遠方監視装置更新工事
  - 苛性ソーダ注入設備機能増設工事
- 金華浄水場
  - 受変電設備更新工事
- 庁舎建設事業
  - 基本実施設計委託 (H30～H31)

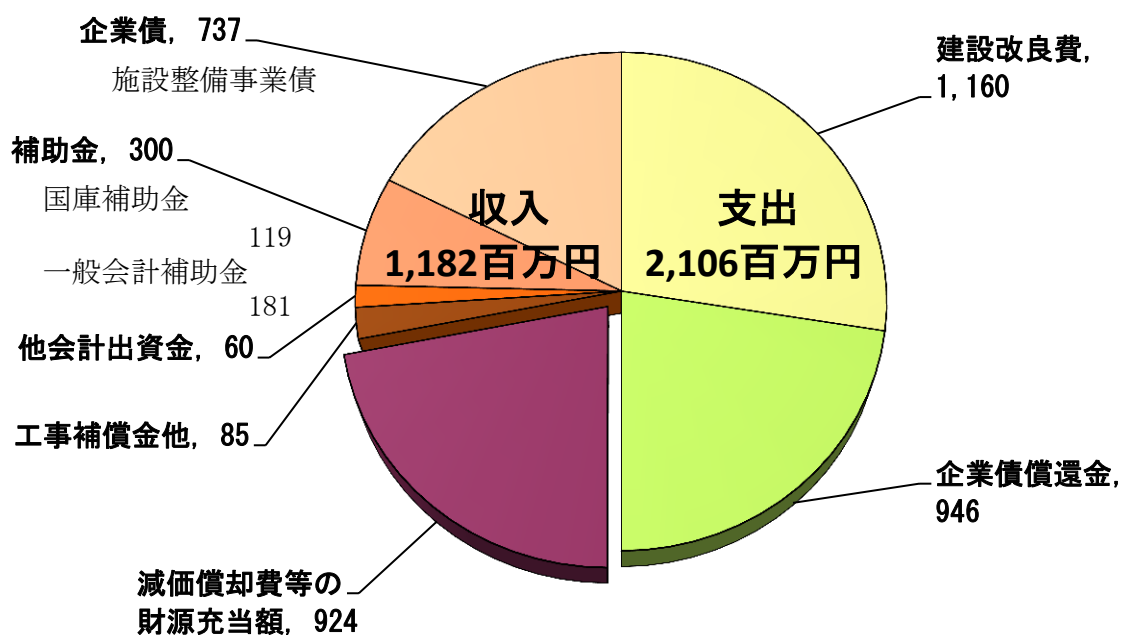
# 水道事業会計

(単位：百万円)

## 収益的収支（税抜き）



## 資本的収支（税込み）

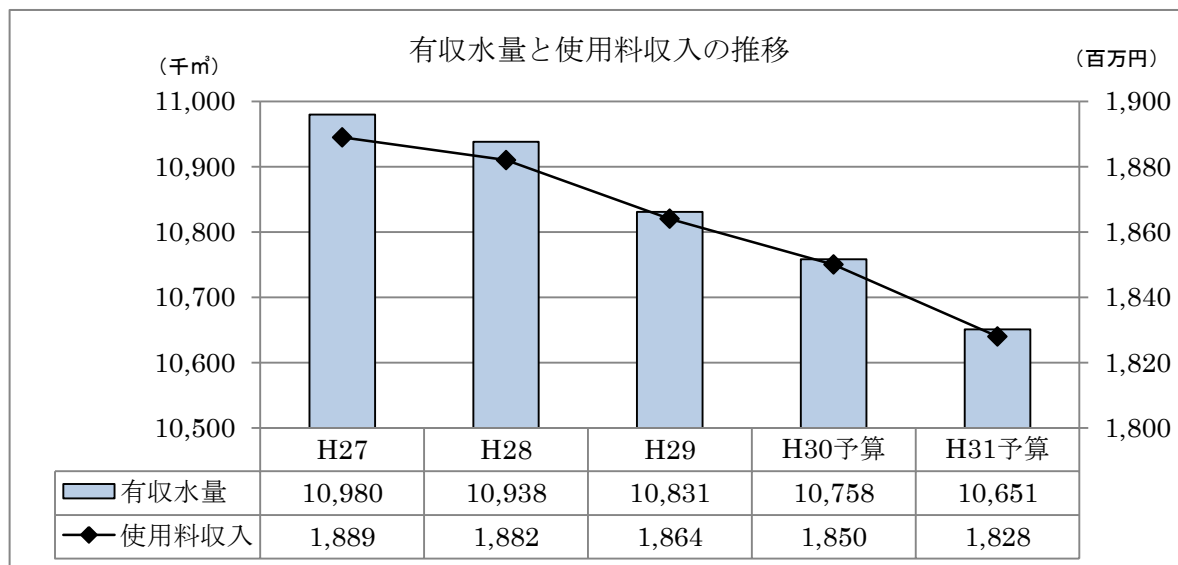


(2) 下水道事業

① 有収水量と使用料収入の見込み

有収水量は水道事業と同様に年々減少しており、平成 30 年度は 1 月末現在で前年度に対し 1.62%減少しています。

平成 31 年度は有収水量・使用料収入共に平成 30 年度と比較して減少を見込んでいます。



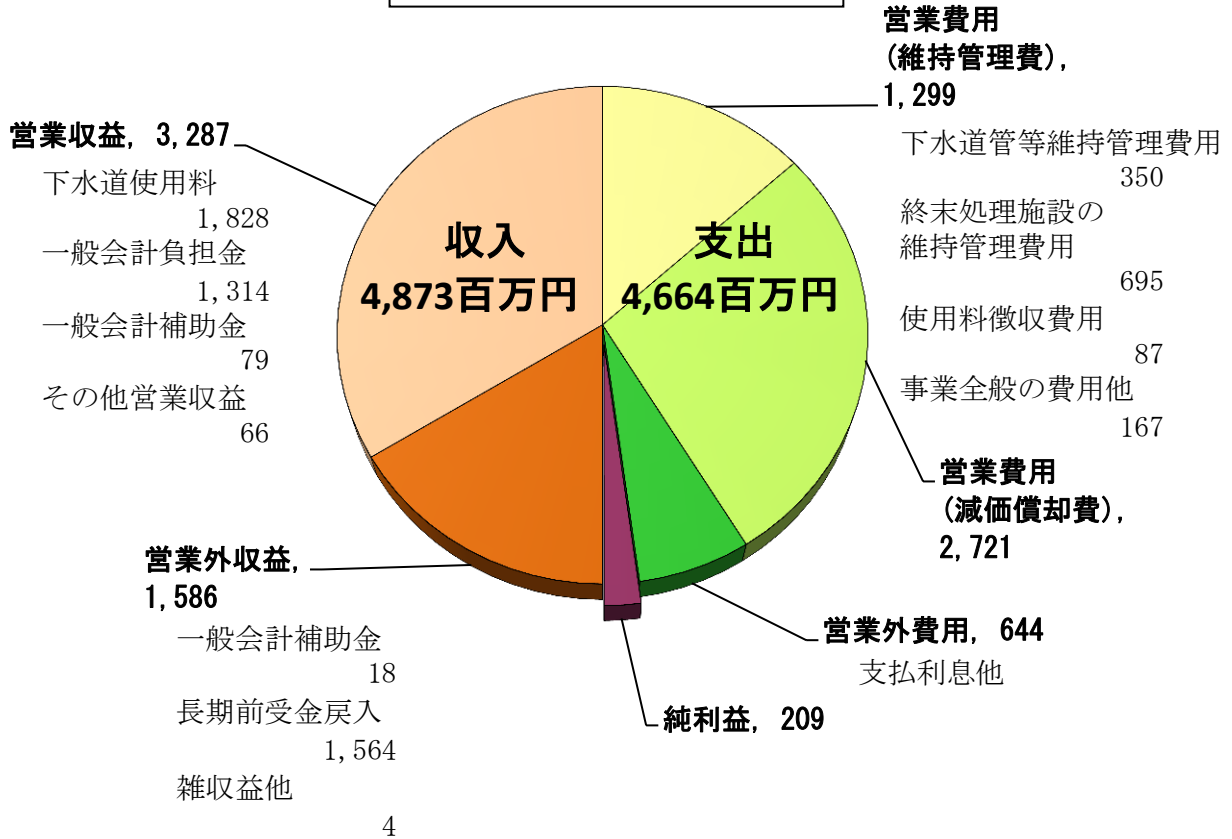
② 主な建設改良事業

- 雨水管新設工事：約 733m
- 雨水管改築工事：約 585m
- 污水管新設工事：約 338m
- 污水管改築工事：約 1,514m
- 合流管改築工事：約 363m
- 端野・北見接続幹線新設工事（統合事業）：約 1,400m
- マンホールポンプ更新工事
- 北見市浄化センター
  - 水処理計装設備更新工事
  - A系水処理棟電気設備更新工事
  - 2系消化タンク貯留槽化工事
  - 曝気ブロワ設備更新工事（H31～H32）
- 庁舎建設事業
  - 基本実施設計委託（H30～H31）

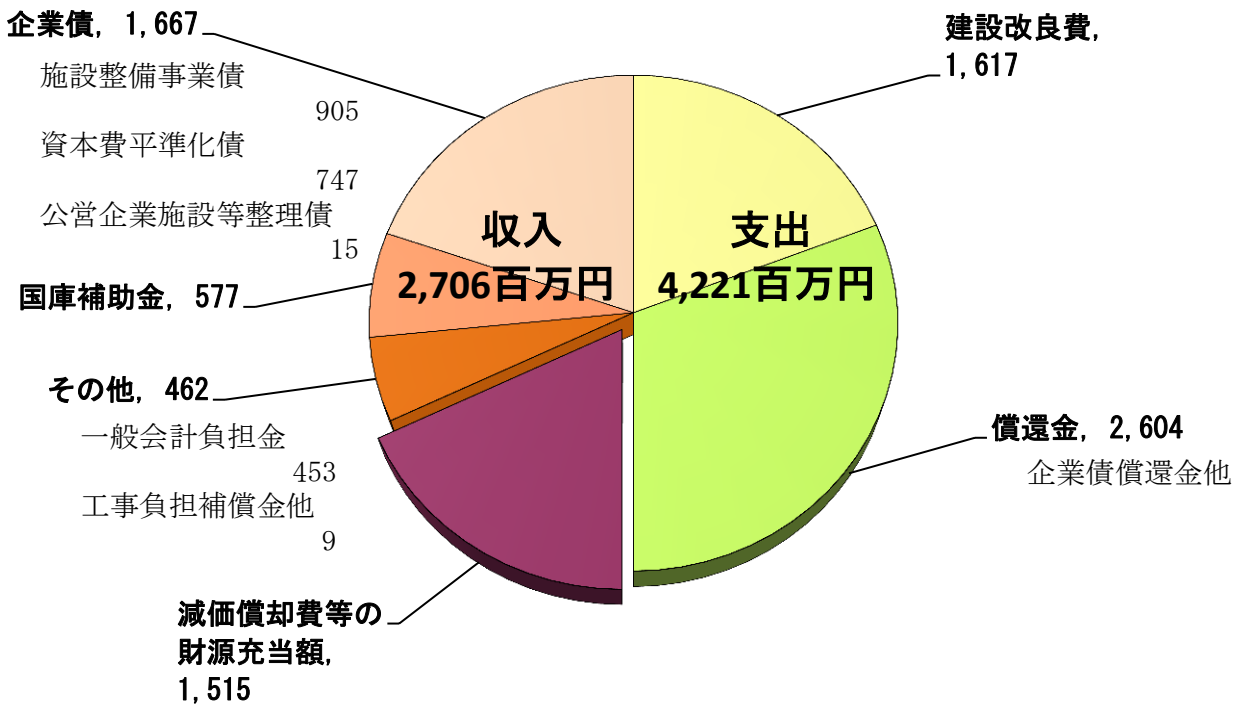
# 下水道事業会計

(単位：百万円)

## 収益的収支（税抜き）



## 資本的収支（税込み）



## 2. 水道事業の統合について

### (1) 経過

本市では、簡易水道事業の統合を進める国の方針を受け、平成 21 年度に策定した「簡易水道事業統合計画書」に基づき、水道事業と簡易水道事業を平成 28 年度に一つの水道事業に統合することとした。

■端野自治区： 緋牛内地区を協和地区に統合する協和地区統合簡易水道事業を実施。

■留辺蘂自治区： 滝の湯地区を温根湯温泉地区に統合する温根湯温泉地区統合簡易水道事業を、北海道が施工する営農用水事業との合併施工により実施。

北海道施工営農用水事業の完了年度が平成 28 年度と平成 29 年度の 2 度にわたり、次年度へ延長されたため、温根湯温泉地区統合簡易水道事業の事業期間及び水道事業の統合も同様に延長した。

### (2) 今後の予定

今年度、施設整備が完了の見込みとなったことから、平成 31 年 4 月 1 日より一つの水道事業に統合するため、統合に係る変更届出書を北海道へ提出及び関係条例の改正等を直近の定例会に上程する。

